

嘉手納町地元企業優先発注により地域経済の活性化を図る決議

嘉手納町は、事業所のほとんどを中小企業が占めるまちであり、中小企業が成長発展することは、働く人の収入増加や消費の活性化、雇用の確保、拡大へとつながることから、中小企業は地域経済の極めて重要な担い手となっています。そして、中小企業の成長発展は、地域経済の活性化を通じたまちづくりにつながり、町民生活の向上に寄与する好循環が生まれます。

しかしながら、本町では人口減少や、情報化の進展、経済活動のグローバル化、産業構造の変化、価値観の変化、また、2020年頃からの新型コロナウイルスによる経済的影響や中小企業を取り巻く環境が大きく変化しており、その経営環境は厳しさを増しています。

こうした状況の中で嘉手納町においては、行政が発注する大型プロジェクト事業が嘉手納野球場の改築からはじまり、地元企業優先発注に大きな期待がかかります。町は、発注するすべての業務について受注した請負企業は、下請けや外注を含め、町内企業を優先的に選定するよう強く求めています。大きなチャンスを出せる限り、町内企業に還元させることにより、地域経済の活性化を一層図っていただけるものと考えます。なお、当然のことながら、町内企業で対応できないものについては、業者の有する資格、実績、経験等を総合的に勘案して、町内業者以外で検討することを妨げるものではありません。

本議会では、これまでも町商工会から地元企業優先発注の要請を受けて同意をしています。が、あらためて、本町の地域経済の活性化を図る観点から町が発注する物品、公共工事の発注にあたっては、町内企業を優先すると同時に請負企業は、町内での飲食、物品の購入、下請けや外注を含め町内企業を優先的に選定するよう決議いたします。

令和5年4月27日

沖縄県嘉手納町議会